

水ヨーヨーつりのやり方



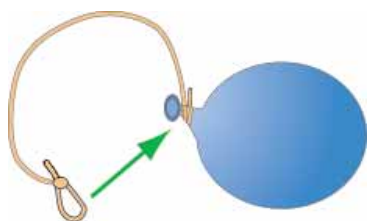
ヨーヨーの縛り方

従来は手で縛るため、若干の練習が必要でしたが、最近は口止めパッチンを使って簡単に縛れます。しかし、ワンランク上のヨーヨーは手で縛らねばなりませんので、縛り方を覚えておいても有益です。

つり用の輪の作り方

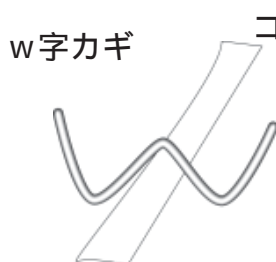


ヨーヨーの指かけ用にノビゴムの先端を結びます。



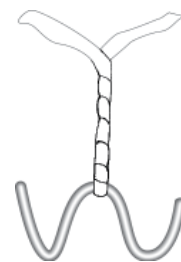
指かけ用の結び目をヨーヨーの口にくぐらせ大きな輪を作ります。

つり仕掛けの作り方

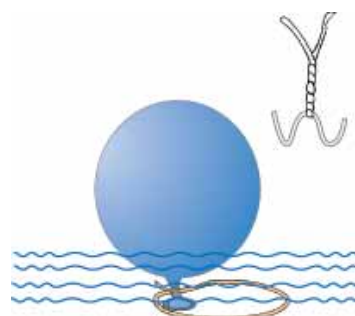


コヨリ紙

コヨリ紙はW字カギをはさんで、両端を揃え、捻るだけです。



コヨリ紙を本格的なコヨリに燃ってしまうと、丈夫すぎて、ヨーヨーがたくさんつれてしまい、お勧めできません。



ヨーヨーをつろうとしてガギを水の中に沈めると、必ずコヨリが水に濡れるので、ヨーヨーをつり上げるのが難しくなります。

大きな輪は水面下に沈むようにします。

ヨーヨーつりの準備のポイント

ヨーヨーが簡単につれてしまえば、ゲームになりませんので、なるべくつれにくくします。

、つるときに仕掛けのコヨリが水に濡れるよう、ノビゴムの輪が水面下に沈むように設定します(W字カギの構造上、カギを水の中に入れて自然にコヨリの部分が水に濡れるようになっています。)

ヨーヨーを膨らませるときに水をたくさん入れて重くします。

つれ防止の方法として以上のようなものが考えられますが、あまりあからさまにやると、遊ぶ人の興味を失わせてしまうので、バランスをとってほどほどにやってください。一つも取れなかった人にも参加賞を用意するなどして下さい。

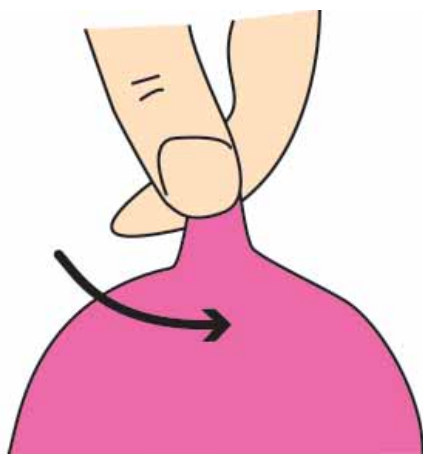
ヨーヨー遊びの容器は子供用プールやタライなどを利用します。容器はあまり大きなものだと、ヨーヨーが逃げてしまって、うまく遊べません。子供用プールなら直径80cmから1mぐらいが適当です。

ヨーヨーを作るとき、100個から200個くらいなら、簡易ポンプでもできますが、500個以上なら、若干予算は張りますが、業務用ポンプの利用が能率的です。

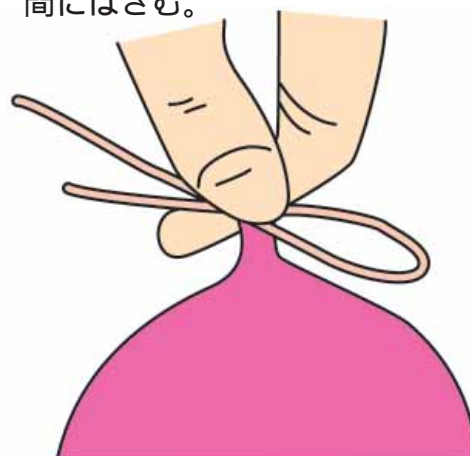
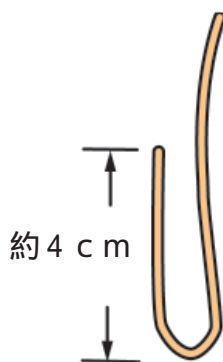
ヨーヨーは上手に縛ると4日から1週間以上持ちますので、作り貯めできます。しかし膨張したゴムは、太陽の光や風に晒されると、速く劣化しますので、ダンボールなどに入れて保管してください。

水ヨーヨーの縛り方

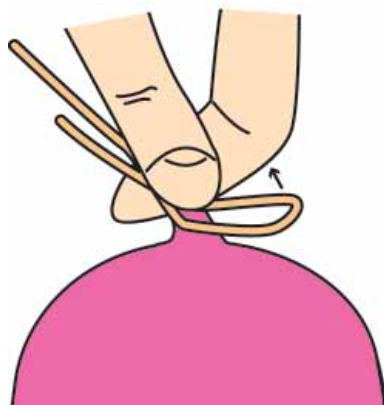
膨らんだ風船を矢印の方向へ
4から5回まわして口元をねじる。



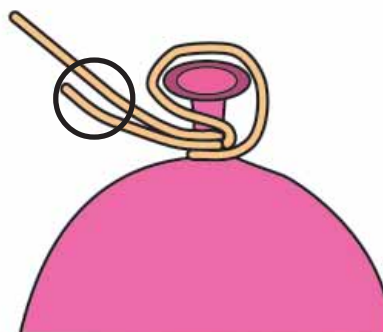
糸ゴムを図のように先端から4 c
mほど折り曲げて、風船の口と、指の
間にはさむ。



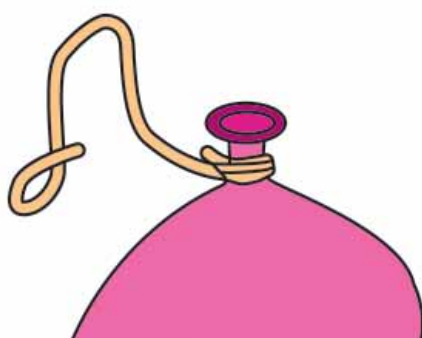
ゴムの輪に指を入れて強く引っ張りなが
ら、4、5回風船の口元に巻きつける。この
時、ねじった風船が戻らないように気をつ
ける。



最後に糸ゴムの輪を風
船の口元にかけて の部分
を引っ張る。



ヨーヨー遊びの指かけ用に、糸ゴムのもう一方の先を中指
の太さに合わせて結ぶ。(この輪はヨーヨーつりでも利用する)



最近は口止めパッチンという便利なものがありますので、通常の場合は、特に縛り方を練習する必要はありませんが、マンガ付水ヨーヨーとか、ヨーヨーのなかにもう一つヨーヨーが入った親子ヨーヨーなどワンランク上のヨーヨーを作るときは、この縛り方をマスターする必要があります。